

平成 26 年 4 月 15 日

「アプリ De 統計」の提供開始 —スマートフォンによる統計情報提供アプリ—

総務省は、スマートフォン上で、身近な政府統計データを提供するアプリ「アプリ De 統計」の試行版の提供を 4 月 15 日正午から開始します。

- 総務省統計局及び独立行政法人統計センターは、統計におけるオープンデータの高度化に取り組んでおり、その一環として、広く国民の皆様には統計の有益性や便利さを実感していただけるよう、スマートフォンによる統計情報提供アプリ「アプリ De 統計」を開発しました。

【機能】

統計データを身近に感じ、利用していただくため、次の機能を実装しました。

- ① 「City Stat」 : 今、自分がいる場所の市区町村の統計データを、スマートフォンの GPS と統計 API 機能を連動させ表示
 - ② 「ポケット統計」 : 基本的な統計データを手軽に表示
 - ③ 「とうけいどけい」 : 様々な日にちなんだ統計情報や統計にまつわるクイズ、ちょっとした統計グラフの作成
- 今般の「アプリ De 統計」の試行版は、Android OS 4.0.3 以上のスマートフォンで御利用いただけます。
なお、皆様からの御意見や御要望も踏まえ、利用範囲の拡大等更なる改善・改修を行ってまいりますので、是非御利用いただき御意見等をどしどしお寄せください。
 - 総務省統計局及び独立行政法人統計センターでは、今後も統計におけるオープンデータの高度化の取組を進めてまいります。

※本アプリは、職員によるアイデアを具体化し、新藤総務大臣に命名いただいたものです。

(別添資料)

- 資料 1 「アプリ De 統計」の概要
- 資料 2 「アプリ De 統計」のインストール方法

※Android は、Google Inc. の商標です。

(連絡先)

統計局統計情報システム課
担当：松下補佐 並木係長
直通 03-5273-1007
FAX 03-3203-8358

①City Stat

今、自分がいる場所の市区町村の統計データを、スマートフォンのGPSと統計API機能を連動させ表示



②ポケット統計

基本的な統計データを手軽に表示



- 当面利用可能な主な統計データ(総務省統計局)
- ・人口・世帯(国勢調査)
 - ・民営事業所数・従業者数(経済センサス活動調査)
 - ・主な価格(小売物価統計調査)
 - ・1ヶ月間の収入と支出(家計調査)など

※API機能によりデータを取得するため、常に最新の統計データを表示します。
 平成26年秋頃から各府省の統計データ等利用可能なデータを拡充する予定です。(統計API機能の本格運用にあわせ開始。)

③とうけいどけい

様々な日にちなんだ統計情報や統計にまつわるクイズ、ちょっとした統計グラフの作成(次頁参照)



とうけいどけい

【本日のとうけい】



その日に見合った統計情報を紹介します。

「本日のとうけい掲載記念日」

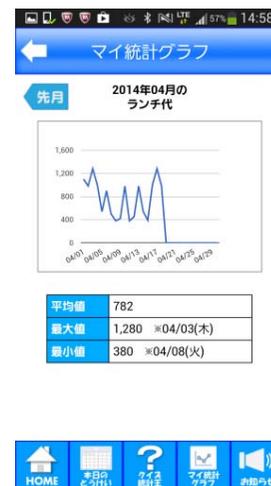
- ・2月14日 バレンタインデー
- ・3月12日 サイフの日
- ・4月18日 発明の日
- ・7月4日 なしの日
- ・8月7日 バナナの日
- ・8月9日 野球の日
- ・9月3日 秋の睡眠の日
- ・11月23日 勤労感謝の日
- ・12月2日 日本人が初めて宇宙旅行した日

【クイズ統計王】



統計にまつわるクイズが出題され、選択肢を選択することで、回答することができます。

【マイ統計グラフ】



任意にグラフのタイトルと単位を設定します。

数値を入力し任意の統計を作成します。

「グラフを作成する」をクリックすると、任意に作成した統計がグラフで表示されます。

「アプリDe統計」のインストール方法

① スマートフォンの画面にあるGoogle Playの「Playストア」にアクセス

② 「"アプリDe統計"」と入力 (DeはDE又はdeでも入力可能)

③ 検索結果一覧から選択

④ インストール

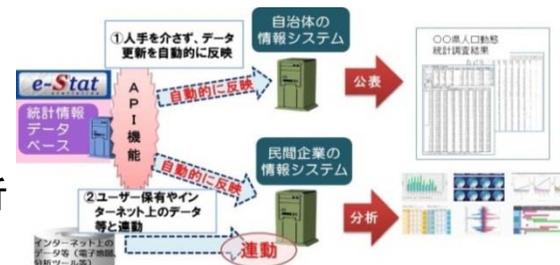


※ 画面はイメージです。
お使いの機種や設定等によって画面が異なる場合があります。

☆統計局と(独)統計センターは、大量・多様な統計データの高度利用を可能とするオープンデータの取組を先導的に実施

1. API機能による統計データの高度利用環境の構築

- 政府統計のポータルサイト『e-Stat』に、新たにAPI機能を付加し、蓄積された統計データを機械判読可能な形式で提供することで、次のようなことが可能に。
 - ① 利用者の情報システムにe-Statのデータを自動的に反映
 - ② ユーザー保有やインターネット上のデータ等と連動させた高度な統計データ分析
- **平成25年6月10日から試行提供(<http://statdb.nstac.go.jp/>)を開始。**
(統計局所管の統計データによる試行提供により機能やシステム負荷の検証を実施。)



2. 統計GIS機能の強化

- e-Statの統計GIS機能を強化し、ユーザー保有データの取り込み分析や任意に指定したエリアにおけるデータが利用可能になるような機能を開発中。
- **API機能に続き、平成25年10月18日から試行提供(<http://statdb.nstac.go.jp/>)を開始。** (統計局所管の統計データによる試行提供により機能やシステム負荷の検証を実施)



3. オンデマンドによる統計作成機能・方策の研究

- 公的機関や学術研究などの利用において、利用者が調査項目を選択するだけで統計結果を自動的に出力する、新しい形の統計提供サービスを研究中。
- これにより、既存の結果表にない任意の多重クロス集計が出力可能になり、学術研究を始めとする多様なニーズに対応。

